



県社協  
県社協部会協議会

# 動き



高齡者福祉協議会  
0月6日(土)7日

10月16日～17日に東北ブロックカントリー・ミーティングin岩手を開催し、232名が参加しました。復興支援に関するシンポジウムでは被災3県の現状と課題を共有しました。11月29日～30日には岩手県高齢者福祉研究会を開催し、408名が参加しました。

「働きやすい職場づくりのための取組み事例集」を発行します。研修事業としては、1月末に養護老人ホーム研修会、2月上旬にスポーツ交流・意見交換研修会を予定しています。

復興支援活動としては、9月～11月にかけて沿岸施設に対する出張マッサージを11回実施しました。また、職員慰労行事等への助成を2月に行つほか、3月完成予定の震災記録集に関する検討を担当委員会で進めてい

**岩手県地域包括支援センター協議会**  
在宅介護支援センター協議会

兒童館部會

10月に行われた全国児童館・児童クラブあいち大会に、会員施設職員3名が参加しました。この大会では、児童館部会が東日本大震災被災地の子どものあそびを支援するために行っていれる「いわて子どもあそび隊」のコーナーが設けられ、全国から集まつた参加者に活動の様子を紹介しました。

あそび隊の活動としては、11月から12月にかけて沿岸部で開催された、いわて子どもの森主催の地域共催型移動児童館「あそびにコンビニ」に全4回参加し、牛乳パックなど身近にある材料で作つて遊べるおもちゃを紹介しました。

11月13日には第2回児童健全育成関係者レベルアップ研修会を開催 116名が参加しました。

また、平成24年11月から「地域包括支援センター等災害対応ガイドライン」の作成業務を受託し、平成25年3月の完成を目指して取組んでいます。

(現任者)」を開催し、県内地域包括支援センター(29センターワーク)及び在宅介護支援センター(15センターワーク)の現任者52名が修了しました。

なお、今年度は、地域包括ケアシステムの構築に寄与するため、各地区協議会単位で地域包括・在宅介護支援センター協議会職員研修会(県北中央合同、県南両磐合同)を7月・8月・11月に開催し、平成25年1月下旬に県との意見交換会を予定しています。

兒童福祉施設協議会

会員施設代表の職員（専門委員）を中心とした研修会を10月と11月に実施しました。10月は

した。また、今年度は平成25～27年度の中長期計画となる中期活動ビジョン見直しの年であり、現在、役員を中心に検討を進めています。

保育協議会

10月18日～19日、鳥取県において開催された「第46回全国保育士会研究大会」に次期開催県挨拶のPRと視察を兼ねて保育者部会常任委員及び事務局が参加しました。次期開催県挨拶では、岩手のご当地キャラクターわんこきょうだいのこくつちと一緒に岩手にまつわるクイズを出題し、しっかりと岩手の魅力をPRしてきました。

を含めた実用的な研修が行われました。

**岩手県里親会**  
10月は「里親月間」でもあり、「全国里親大会やまがた大会（東北地区里親研修会）」（6月7日）や「平成24年度岩手県里親大会」（21日）等が開催され、それに県内各地から里親会員が参加し、他の里親の体

ント支援、3事業所)、物資支援としては防災・衛生用品の提供(5事業所)、まごころ産品提供(郵便局)の「新鮮便」を活用4事業所)、備品購入支援(9事業所)に取り組んだほか、人的支援としての生活支援員派遣(2事業所)、職員研修会等への講師派遣(1事業所)に取り組みました。

岩手県介護支援専門員協会会

した。12月1日には盛岡市内で「平成24年度岩手県里親セミナー（交流研修会）」を実施し、講義やグループ討議を通して会員相互の交流を深めました。

一方、東日本大震災により里親となつた方々への支援として、岩手県から受託している「親族里親等支援事業」では、

平成25年2月16日～17日には、「介護支援専門員スキルアップフォーラム」が盛岡市マリオスを会場に開催されます。日本ケアマネジメント学会の橋本泰子理事長ほか数名の講師を招き、2日間にわたり講演やシンポジウムが行われます。介護支援専門員以外でも参加することができます。詳しくは当会ホームページをご覧ください。

岩手県ホームヘルパー協議会

**岩手県ホームページヘルパー協議会**  
9月10日～11日の2日間にわたり「東北ブロックホームページヘルパー協議会研修会」が岩手県を開催地として、行われました。記念講演にはIBC岩手放送の大塚富夫氏をお招きし、2日目は沿岸地のホームページヘルパーや社協関係の方々が当時の状況とこ

れからの課題や震災で学んだことなどを発表しました。

現任者研修会を盛岡・奥州・

田野畠を会場として計5回開催し、会員を含めて208名の参加がありました。現任者研修では、「調理実習」「苦情解決」「精神疾患」について専門の講師を招いた実用的な研修を行いました。

## 岩手県介護福祉士会

10月7日～8日の2日間にわたり、「日本介護福祉士会東北・北海道ブロック研修会」見直しそう介護の魅力「取り戻そう福祉の力」を岩手県が開催地となり開催しました。アイナを

平成25年3月には第2回セミナーを開催する予定です。

## 共に生き、共に支え合う安心して住み続けることができる社会の実現を目指して

岩手県社会福祉協議会

桑島 博

新年おめでとうございます。

皆々様には、お健やかに新年を迎えたことを存じます。心よりお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災から1年10か月余りが経過し、復興に向かって歩みが少しずつ進められていますが、今もつて、将来や生活への不安を抱えている方々も多く、被災された方々に寄り添いながら、共に復興に向けた歩みを進めていくことが、一層重要になつて来ているものと考えております。

福祉関係者が生活困窮・孤立といつた県民の多様な生活課題の解決に向けて、より積極的に関わっていくことが求められており、地域福祉推進

会場とし、2日目には「医療連携と地域連携」「災害と介護福祉士」の2つの分科会が行われ、これらの介護福祉士の担う役割的重要性が再認識されました。11月16日・17日・23日には、「介護福祉士実習指導者特別研修会」が行われ、県内施設から57名の担当者が参加しました。4日間25時間のカリ

の視点に基づき、「共に生き、共に支え合い、安心して住み続けることができる社会の実現」を目指し、各般の取組みを進めていくことが重要であると考えております。

東日本大震災により、本県では言葉に尽くせぬ大きな被害を受けましたが、その中にあって、県内はもとより全国各地から数多くのボランティアが被災地を訪れ、献身的な活動を展開していただきました。

このような現状を踏まえ、国においては、生活困窮や貧困の連鎖という大きな社会問題の解決に向け、新たに「生活支援戦略」の策定作業が進められています。

本県におきましても、私ども社会福祉関係者が生活困窮・孤立といつた県民の多様な生活課題の解決に向けて、より積極的に関わっていくこ

が国に「実習指導者」として登録されることになります。介護福祉士国家試験受験者に対する受験対策講座は9月に講習会、12月に筆記模擬試験を行い、平成25年2月10日には実技模擬試験が行われます。

## 盛岡地区

(医)みやま会 盛岡観山荘病院

(医)江村胃腸科内科医院

(医)泰明会 谷藤眼科医院

(医)禄三堂 白井循環器呼吸器内科

(医)恵仁会 三愛病院

(財)いわて産業振興センター

(社)岩手県歯科医師会

(社)岩手県治山林道協会

(社)岩手県農業協同組合役職員連盟

(医)久仁会 内丸病院

(有)盛岡自動車学校

(株)岩手朝日テレビ

(株)吉田産業盛岡支店

(株)宮田燃料

(駒)木葬祭(株)

社団医療法人啓愛会 孝仁病院

盛岡ガス(株)

中島整形外科医院

日本興亜損保(株)岩手支店

菱和建設(株)

鈴木内科神経内科

岩手三菱ふそう自動車販売(株)

## 豊かな現実社会に貢献します

私たち社会福祉の発展を願い、福祉の活動を協賛する企業です。明日の福祉を見つめ、地域社会に貢献します。